

① 災害時の通勤の種別 (該当する記号を記入)	イ・住居から就業の場所への移動	ロ・就業の場所から住居への移動	
	ハ・就業の場所から他の就業の場所への移動	ホ・ロに接続する住居間の移動	
② 負傷又は発病の年月日及び時刻	年	月	日 午 前後 時 分 頃
③ 災害発生 の 場所	⑤ 就 業 の 場 所 (災害時の通勤の種別がハに該当する場合は移動の終点たる就業の場所)		
④ 就業開始の予定年月日及び時刻 (災害時の通勤の種別がイ、ハ又はホに該当する場合は記載すること)	年	月	日 午 前後 時 分 頃
⑥ 住居を離れた年月日及び時刻 (災害時の通勤の種別がイ、ニ又はホに該当する場合は記載すること)	年	月	日 午 前後 時 分 頃
⑦ 就業終了の年月日及び時刻 (災害時の通勤の種別がロ、ハ又はホに該当する場合は記載すること)	年	月	日 午 前後 時 分 頃
⑧ 就業の場所を離れた年月日及び時刻 (災害時の通勤の種別がロ又はハに該当する場合は記載すること)	年	月	日 午 前後 時 分 頃
⑨ 災害時の通勤の種別に関する移動の通常の経路、方法及び所要時間並びに災害発生の日に住居又は就業の場所から災害発生の場所に至った経路、方法、所要時間その他の状況	〔通常の通勤所要時間 時間 分〕		
⑩ 災害の原因及び発生状況	----- ----- ----- -----		
⑪ 現認者の住所 氏名	電話番号		局番
⑫ 転任の事実の有無 (災害時の通勤の種別がニ又はホに該当する場合)	有 ・ 無	⑬ 転任直前の住居に係る住所	

【項目記入にあたっての注意事項】

- 記入すべき事項のない欄又は記入枠は空欄のままとし、事項を選択する場合には当該事項を で囲んで下さい。(ただし、欄及び 欄の元号については該当番号を記入枠に記入して下さい。)
- 傷病年金の受給権者が当該傷病にかかる療養の給付を請求する場合には、 労働保険番号欄に左詰で年金証書番号を記入して下さい。また、 及び は記入しないで下さい。
- は、請求人が健康保険の日雇特別被保険者でない場合には記載する必要はありません。
- ④は、災害時の通勤の種別がハの場合には、移動の終点たる就業の場所における就業開始の予定時刻を、二の場合には、後続するイの移動の終点たる就業の場所における就業開始の予定の年月日及び時刻を記載して下さい。
- ⑥は、災害時の通勤の種別がハの場合には、移動の起点たる就業の場所における就業終了の年月日及び時刻を、ホの場合には、先行するロの移動の起点たる就業の場所における就業終了の年月日及び時刻を記載して下さい。
- ⑦は、災害時の通勤の種別がハの場合には、移動の起点たる就業の場所を離れた年月日及び時刻を記載して下さい。
- ⑧は、通常の通勤の経路を図示し、災害発生の場所及び災害発生の日に住居又は就業の場所から災害発生の場所に至った経路を朱線等を用いてわかりやすく記載するとともに、その他の事項についてもできるだけ詳細に記載して下さい。
- ⑩は、どのような場所を、どのような方法で往復している際に、どのような物で又はどのような状況において、どのようにして災害が発生したかをわかりやすく記載して下さい。
- 「事業者の氏名」の欄及び「請求人の氏名」の欄は、記名押印することに代えて、自筆による署名をすることができます。

【標準字体記入にあたっての注意事項】

□□□で表示された記入枠に記入する文字は、光学式文字読取装置で直接読取りを行いますので、以下の注意事項

- に従って、表面の右上に示す標準字体で記入して下さい。
 - 筆記用具は黒ボールペンを使用し、記入枠からはみださないように書いて下さい。
 - 「促音」「よう音」などは大きく書き、濁点、半濁点は1文字として書いて下さい。
- (例) キツテ キョ バ
- は斜の弧を書きはじめるとき、小さくカギをつけて下さい。
 - はカギをつけずに垂直に、 の2本の縦線は上で閉じないで書いて下さい。

派遣先事業主証明欄	派遣元事業主が証明する事項(表面の 並びに④、⑥、⑧、⑩、⑫、⑬、⑭(通常の通勤の経路及び方法に限る。))及び⑮の記載内容について事実と相違ないことを証明します。
	年 月 日 事業の名称 電話番号 局番
	事業場の所在地 郵便番号 -
	事業主の氏名 ⑯ (法人その他の団体であるときはその名称及び代表者の氏名)

表面の記入枠を訂正したときの訂正印欄	削字印 加字	社会保険 労務士 記載欄	作成年月日・提出代行者・事務代理者の表示	氏名 印	電話番号
--------------------	-----------	--------------------	----------------------	---------	------